

特別栽培農産物栽培管理計画書

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	28年1月30日
登録番号	08-001-001-001~044

生産者	杉山修一	品種名	コシヒカリ・夢ごこち・夢いっぱい・新生夢ごこち・ゆうだい21等
住所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ場	様式6-1-水稲早期参照
電話	0287-46-0741	栽培面積	181133 m ²
作目・作型	水稲 早期栽培	収穫期間	9月10日～11月15日

(計画)

○作業内容 コシヒカリ・夢ごこち、夢いっぱい、新生夢ごこち等

単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	27.11				ロータリー耕
耕起作業2回目	28.1.～				ロータリー耕
レーザーレベラー	28.1.～				レーザー整地
有機質散布	28.3.上旬 ～28.4月	発酵鶏糞	70～1200kg		ブロードキャスター
種子消毒	28.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	28.4.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象農薬及び有機農産物の別表の2の農薬不使用培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 1.5kg 0.6kg		10畝20枚換算 播種機使用床土下層に床土箱詰、発酵鶏糞散布、スリヤグアノ散布、床土表層箱詰め、散水、播種、覆土
発芽	播種後5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	28.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	28.4上旬～落水まで				軽トラック、1.5トン、2トン車等
代掻き作業	28.4上旬～5月中旬				代かきハロー
田植え作業	28.4下～5	ルーチン粒剤 尿素 マグマリン シウハ1和粒剤	1kg 6kg 20kg 1kg	1回 2.46kg 2回	田植え機使用、薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数37～48株植え
除草剤散布	田植え後7～10日	月光ジャンボ	0.4kg	3回	
土壌改良材流し込み	28.5下	海洋深層水1ヘルツ	0.1リットル		水口から流し込み
除草剤散布	28.6～7月	ワイドアタックSC	0.1リットル	1回	ブームスプレーヤーで散布
肥料散布	28.6下～7上	マグマリン スリヤグアノ	0.1kg 0.1kg		ブームスプレーヤーで散布
肥料散布	28.7上～8上	マグマリン スリヤグアノ	0.1kg 0.1kg		ブームスプレーヤーで散布
収穫、乾燥	28.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、粳すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.46	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シカチ1キ粒剤	ブタクロール 5.0% ペントキザン1.5%	
月光ジャンボ	カフェンストール7.5% ダイムロン 37.5% メタゾスルフロロン2.5%	
ワイドアタック SC	ペノキススラム	3.6%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
尿素	41

(実績)
圃場
作業内容

コシヒカリ、夢ごこち、ゆうだい21

その2

(単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数 ・ 窒素施用量	備考
耕起作業	27.11				ロータリー耕
耕起作業2回目	28.1				ロータリー耕
レーザーレベラー	28.1.～ 3.10				レーザー整地
有機質散布 肥料散布	28.3.上 旬～28.4 月	発酵鶏糞 塩化加里 スリヤグアノ	圃場地力 に合わせて 0～120kg 14 kg 20 kg		ブロードキャスター
種子消毒	28.3.上 旬	温水			温湯消毒
播種	28.4.上 旬	粒状培土 有機栽培用粒状培 土 化学肥料及び節減 対象農薬及び有機 農産物の別表の2の 農薬不使用 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5 リットル 1.5kg 0.6kg		10～20枚換 算 播種機使用床土 下層に床土箱詰、 発酵鶏糞散布、 スリヤグアノ散 布、床土表層箱 詰め、散水、播 種、覆土
発芽	播種後5 ～7日				育苗ハウス内に 積み上げ簡易発 芽を行う
育苗	発芽確認 後～田植 終了	水を保つためのシ ート等 地下水			
耕起作業第3回目	28.3上～ 4月				ロータリー耕
水管理作業	28.4上 旬～落水 まで				軽トラック、1.5 トン、2トン車等
代掻き作業	28.4上旬 ～5月中 旬				代かきハロー 2回から3回
田植え作業	28.4下～ 5	ルーチン粒剤 尿素 マグマリン シウチ1キ粒剤	1 kg 6kg 20kg 1 kg	1回 2.46kg 2回	田植え機使用、 薬剤及び肥料同 時散布 植え付け坪あた り株数37～4 8株植え
除草剤散布	田植え後 7～10日	月光ジャンボ	0.4 kg	3回	
土壌改良材流し込 み	28.5下	海洋深層水1ヘル ツ	0.1リットル		水口から流し込 み
除草剤散布	28.6～7 月	バサグラン液剤	0.5リットル	1回	ブームスプレー ヤで散布
肥料散布	28.6下～	マグマリン	0.1kg		水口から流し込

	7上	スリヤグアノ	0.1kg		み
周辺から除草剤被爆	8月中旬	肘内前原972-1 風見清水川1158	200㎡ 別刈り格下げ		
収穫、乾燥	28.9中～ 10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、籾すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.46	8	5割減

○使用資材の成分内訳等


農薬名	成分名
ルーチン箱粒剤	イソチアニル 3%
シワ1キ粒剤	ブタクロール 5.0% ペンタゾロン1.5%
月光ジャンボ	カフェストロール7.5% ダイムロン 37.5% メタゾスルフロン2.5%
バサグラン液剤	ベンダゾン40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
尿素	41

○出荷量及びマーク使用枚数

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
28年9月13日小野崎勇治 	7回	2.46kg	
年 月 日	回		
年 月 日	回		

○特記事項

被爆の可能性のある稲200㎡分別刈り格下げ処理、総面積から200㎡を特裁除外